



特定非営利活動法人
日本冠疾患学会
THE JAPANESE CORONARY ASSOCIATION

日本冠疾患学会の概要と 内保連加盟の目的

目的

日本冠疾患学会は、冠動脈疾患に関連した内科と外科の専門家が一つになって、真にpatient orientedの精神で、冠動脈疾患の医学と医療を学び合うと共に、冠動脈疾患に関する研究の進歩および普及をはかり、これを通じて診断・治療・予防の発展をめざすことにあります。



組織



日本冠疾患学会 理事長
夜久 均（京都府立医科大学 心臓血管外科 教授）

「循環器医療に内科・外科の区別はもういない！
どの治療をどのタイミングで行うかを多職種で決める」



日本冠疾患学会 副理事長
上田 恭敬（国立病院機構大阪医療センター 循環器内科 科長）

会員数	名誉会員	62 名
	理事	43 名
	監事	2 名
	評議員	149 名
	正会員	951 名（医師以外30名含む）

2020年10月現在

1,207 名

（内科）46.4% （外科）50.1% （その他）3.5%

内科系と外科系の会員がほぼ半数ずつで構成されている

※全会員中 医師 97.5%、医師以外 2.5%

理事 赤坂 隆史
和歌山県立医科大学 循環器内科 教授
浅井 徹
順天堂大学 医学部 心臓血管外科 教授
荒井 裕国
東京医科歯科大学大学院 心臓血管外科 教授
石井 康宏
医療法人財団 荻窪病院 循環器科 部長
石原 正治
兵庫医科大学 内科学講座冠疾患科 主任教授
伊藤 彰
HITO病院 循環器内科 部長
大野 貴之
三井記念病院 心臓血管外科 医長
香坂 俊
慶応義塾大学 循環器内科 特任講師
小林 順二郎
国立循環器病研究センター 名誉院長・健康サポートセンター長
小宮 達彦
倉敷中央病院 心臓血管外科 主任部長
米田 正始
医療法人医誠会 医誠会病院 心臓血管外科
是恒 之宏
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究部長
坂口 太一
兵庫医科大学 心臓血管外科
澤 芳樹
大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座心臓血管外科学 教授
下川 智樹
帝京大学医学部 心臓血管外科学講座 主任教授
高梨 秀一郎
川崎幸病院 心臓病センター 心臓外科 副院長 心臓病センター長
高山 忠輝
日本大学医学部 内科学講座循環器内科 助教
竹村 博文
金沢大学 先進総合外科 教授
田中 啓之
久留米大学 医学部外科学講座 主任教授
種本 和雄
川崎医科大学 心臓血管外科学教室 教授
辻田 賢一
熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学 教授
土橋 和文
札幌医科大学医学部 病院管理学 教授

理事 土井 潔
岐阜大学大学院 医学系研究科 高度先進外科学 教授
桃原 哲也
社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院 循環器内科 主任部長
中尾 浩一
済生会熊本病院 心臓血管センター 院長
中川 義久
滋賀医科大学 内科学講座循環器内科 教授
中村 正人
東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 助教授
成子 隆彦
大阪市立総合医療センター 循環器内科 副部長
新浪 博
東京女子医科大学 心臓血管外科 教授
西野 雅巳
大阪労災病院 循環器内科 副院長
野出 孝一
佐賀大学医学部 循環器内科 教授
野村 文一
湘南東部総合病院
樋上 哲哉
医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院 医局/心臓血管外科 院長
福井 寿啓
熊本大学附属病院 心臓血管外科 教授
細川 丈志
東京ハートセンター 循環器科 部長 副院長
水野 友裕
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 心臓血管外科 准教授
宮崎 俊一
大阪府済生会富田林病院 院長
武藤 誠
埼玉県立循環器・呼吸器病センター 循環器科 医長
安田 聡
東北大学大学院 医学系研究科 循環器内科学分野 教授
横井 宏佳
福岡山王病院 循環器内科 循環器センター長
横山 齊
福島県立医科大学医学部 心臓血管外科学講座 教授
監事 小林 欣夫
千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学 教授
渡邊 善則
東邦大学医療センター大森病院 外科学講座 心臓血管外科 教授

チーム医療についての取り組み

当学会主導にて現在進行中のプロジェクトとして、**ハートチームマニュアル**の制作があります。

「安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン」でも取り上げられている「**ハートチーム**」とは何か、どうあるべきかという提言を目指し、**ハートチームの実際の運用に関するマニュアル**の制作を当学会チーム医療委員会において進めています。

内保連加盟の目的

循環器系の他学会と協力しながらも、本学会の特徴である冠動脈疾患に関わる診療や、内科と外科のチーム医療に関わる課題については、さらに高い専門性に基づいて、より適切な診療が可能となるように、内保連を通じて診療報酬について要望すべきと考え、加盟を希望します。

特に、急性心筋梗塞の急性期治療・CCU管理および予防、ハートチームによる治療方針の決定は重要な課題と考えています。